

yasu to!

2023.7 Vol.103

発行：野洲図書館
(野洲市辻町410番地)

ヤングアダルト世代へ贈る、ブックガイド

野洲図書館のホームページはこちら→



tel 077-586-0218 fax 077-587-5976

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>

「YAのページ」では、司書が週替わりでいろんなことをつぶやいています♪あそびにきてね☆

今号の内容は・・・

★表紙の1冊 ★見習い司書のオススメ ★司書のオススメ ★新しく入った本 デス

表紙の1冊

おし流されても、立ち止まって

『スクランブル交差点』

佐藤 まどか / 作 小学館 K913/4ト



他人とほどほどに距離を取り、熱くならないことをモットーとして、高校生活を送る強。そんな強のクラスに、日本文学を学びに留学してきたマルコが転入してくる。日本への情熱たっぷりに話しかけてくるマルコと、世話焼きのおさななじみ・由衣、その友達・愛らに巻き込まれ、ペースを崩していく強。マルコに強い嫉妬をいだけ悠斗との衝突などを経験し、強は新しい自分に向き合い始める。

◆田舎の中高で育った人間からすると、イタリアから転校生がやって来るという展開が、「これぞ小説！」という気分になるのですが、第一印象に反してリアリティでいっぱいでした。たとえば家族へのモヤモヤとか、友達への妬みとか、そしてコロナによるパンデミック。マイナスな感情だからこそ、共感するところがあります。マルコの留学期間は1年間なので、お別れで閉幕と思いきや、おやまだページが…？登場人物たちの選択や成長を追っていける後半パートも良かったです。(ざ)

見習い司書のオススメ

職場体験に来てくれた野洲北
中学校のみなさんのおすすめ
の本です♪

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

汐見 夏衛／著 スターツ出版(スターツ出版文庫) B913.6/汐



親や学校、すべてに対してイライラした毎日を送っていた中2の百合は、母親とケンカし家を飛び出した。行くあてもなく、近くの裏山にあるぼっかり空いた穴の中で寝ることになった百合。そこは、昔防空壕として使われていた場所だった。目を覚ますと、そこは戦争中の日本。さまざまな人と出会い、人の温かさに触れ、百合は何かを感じとっていく。

◆鹿児島県で生まれ育ち、幼少期に「知覧特攻平和会館」を訪れて衝撃を受けた作者は、「他人の命を奪う権利は誰にもない」ということを伝えるために、この小説を書いたそうです。戦争中の日本に行く前と後の、百合の心情の移り変わりや、ラストの彰から百合へあてた手紙の内容が必見です！戦争とは何のためにあったのか、なぜ戦争をしたのか、よくよく考えさせられる物語です。(Y)

『よるのばけもの』

住野 よる／著 双葉社 913.6/ズ

夜になると、六つの足と八つの目がある、真っ黒な「ばけもの」になってしまう「僕」。ある日、忘れて帰った宿題を取りに夜の学校へ戻った僕は、クラスメイトの矢野さんに出くわしてしまう。いじめのターゲットにされている矢野さんは、「夜休み」のために毎日1時間だけ夜の学校にいるらしい。僕は矢野さんから、ばけものになることを誰にも言わない代わりに、夜休みをしていることを言わないでほしい、と交換条件を持ち出されて一。

◆この本は私たちと通じる場所があります。友達と違うのが嫌だから自分の気持ちにウソをつく、皆がしているからと悪いことをする、自分と違う人を見つけると関わりを避けようとする…。特に「皆がやっているから」という考えは本当に良いのか、考えるきっかけになりました。あるシーンから、僕の感情が大きくゆれ動き、何が正しいのかわからなくなっていく。そのシーンは心が痛みますが、最後のシーンで僕が出した答えが、私の心に強く残っています。(星華)



『カラフル』

森 絵都／著 理論社 K913/E11



生前の罪により輪廻のサイクルから外された「ぼく」の魂が、抽選に当たり、「再挑戦」のチャンスを得た。再挑戦とは、天界では「ホームステイ」とも呼び、前世で失敗した下界で、一定の期間、下界のだれかの身体を借りて過ごすことをいう。ホームステイは、前世の記憶を取り戻して前世で犯したあやまちの大きさを自覚すると、終了だ。「ぼく」は、自殺を図った少年・真の身体にホームステイすることになった。

◆なぜぼくが真の身体にホームステイをして再挑戦させてもらったのか、なぜこの本のタイトルが「カラフル」なのか、わかったとき、この本に出会えて良かったと思います。特に p. 267 からのぼくと天使の会話がとても心に残りました。(0)



『野原できみとピクニック』

濱野 京子／著 偕成社 **K913/ハマ**

裕福な家に生まれS学園に通う優弥^{ゆうや}は、退屈な高校生活を送っていた。ある日S学園の反対側にある商店街に向かった優弥は、L高校の生徒にからまれてしまう。それを救ったのは、同じくL高校に通う少女・稀星^{きさら}。優弥に衝撃が走り、この出会いをきっかけに、二人はひかれあっていくのだがー。

◆まったく違う環境で育ち、性格も異なる優弥と稀星。その二人が徐々に恋に落ちていき、互いの世界が変化していくところが見所です。みなさんも胸をドキドキさせながら読んでみてください。(犬)

『算数が好きになる本』

芳沢 光雄／著 講談社 **K410**



算数・数学は、将来のためによく使う教科です。でも、自分は算数が苦手、という人も多かもしれません。そんな人たちを「苦手」から「得意」に変えられる、算数の学び方を紹介します。

◆文章だけでは読む気もなくなりがちですが、この本は、面白いイラストが入っていて、伝わりやすいです。データや図形も、わかりやすい。印象に残っているのは、電卓で起こりやすいミスのところ。電卓では前からしか計算できないから、気をつけないと正しい答えが出ない、というのが為になりました。(陽)

(り) くんのおすすめ

『立体からくり』

布施 知子／著 誠文堂新光社 **K754**

複雑な立体を作る、ユニット折り紙の本！



司書のオススメ Recommendation

レプリカ
模造品...

『レプリカだって、恋をする。』

榛名 井／著 KADOKAWA(電撃文庫) **B913.6/ハル**



愛川素直という少女の身代わりとして働く分身、それが私。自由に歩くことはできない。本体のために生きるのが使命。だったはずなのに、恋をしてしまったんだ。空っぽだったはずの私だけど、この恋心は、私だけのもの。

◆イメージとしては、本体の素直^{すなお}はいかにもなげ一軍女子。いっぽう、素直のレプリカのナオは心優しき地味な文学少女。これまで、素直の影武者として自分を出さずに生きていたナオですが、元バスケ部の秋也^{しゅうや}には心を開いて、ナオ自身として接しています。とくにナオが秋也に本物の素直と自分を見分けてもらうために髪をハーフアップにするシーンはキュンキュンします。また、本体の素直がわがままなのに対して、ナオが優しすぎて切なくなることも。ナオが素直のために献身的に頑張る姿がいじらしすぎ

て泣けてきます…。それにしても、秋也や後輩のリツは、こんなにナオと密に過ごしているのに、素直との違いに気づかないはずはないように思うのですが…。真相は衝撃のラストで明かされます。こんなに語っておきながら不謹慎だけれども、私もレプリカ欲しい！！(る)

NEW ARRIVAL

↓あたらしくはいったほん(の、ほんの一部)です↓

タイトル	著者	出版社
滋賀怪談 近江奇譚	旭堂 南湖	竹書房
三国志が好き!	渡邊 義浩	岩波書店
僕たちの部活がなくなる?★だったら自分で放課後をデザインしよう!	青柳 健隆	旬報社
大学受験案内 2024 年度用	晶文社学校案内編集部/編集	晶文社
ひとりあそびの教科書		
推し活韓国語	柳 志英/著	Gakken
86-エイティシックス- Alter. 1	安里 アサト	KADOKAWA
神様の御用人 継いでゆく者	浅葉 なつ	KADOKAWA
冬にそむく	石川 博品	小学館
ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか 外伝 14	大森 藤ノ	SB クリエイト
創約とある魔術の禁書目録 8	鎌池 和馬	KADOKAWA
ぼくたちのリメイク 12	木緒 なち	KADOKAWA
メイジアン・カンパニー 6	佐島 勤	KADOKAWA
時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん 6	燦々SUN	KADOKAWA
魔王学院の不適格者 13 下	秋	KADOKAWA
スパイ教室短編集 04	竹町	KADOKAWA
Re:ゼロから始める異世界生活 33	長月 達平	KADOKAWA
三角の距離は限りないゼロ 9	岬 鷺宮	KADOKAWA
TAMAYA	三月 みどり	KADOKAWA
ノクツドウライオウ	佐藤 まどか	あすなろ書房
セントエルモの光	天川 栄人	講談社
ハーベスト	花里 真希	講談社
シタマチ・レイクサイド・ロード	濱野 京子	ポプラ社
都会のトム&ソーヤ 20	はやみね かおる	講談社
きみの話を聞かせてくれよ	村上 雅郁	フレーベル館
それを世界と言うんだね	綾崎 隼	ポプラ社
本好きの下剋上 第5 11	香月 美夜	T0 ブックス
魔女の旅々 20	白石 定規	SB クリエイト
小説機動戦士ガンダム水星の魔女 1	矢立 肇/原作	KADOKAWA
月の白さを知りてまどろむ 2	古宮 九時	ドリコム
成瀬は天下を取りに行く	宮島 未奈	新潮社
今日、僕らの命が終わるまで	アダム・シルヴェラ	小学館集英社プロダクション
アンナは、いつか蝶のように羽ばたく	ウェイ・チム	アストラハウス
最後の語り部	ドナ・バーバ・ヒグエラ	東京創元社
ツイート・ウォーズ	エマ・ロード	小学館集英社プロダクション

編集後記：◆久しぶりにファミレスに行ったら厨房から「…くるニャー！」「…くださいニャー！」ご陽気な店員さんがいると思ったら、噂のネコ型ロボット（×ドラ○もん）でした。初めて見た！わぁ隣のテーブルに運んできた！と興奮してたのですが、私たちのテーブルは普通に店員さんが持って来てくれました。（ざ）◆毎日暑いですね。私は夏が苦手です。冷たい床を探して寝そべっています。ほぼ犬です。（る）◆今回のやすど！は職場体験で野洲北中学校から来てくれたみんなと作成しました。Yさん、星華さん、Oさん、犬さん、陽さん、りさん、ありがとう！